

内閣参質二〇一第一七七号

令和二年六月三十日

内閣総理大臣 安倍 晋三

参議院議長 山東 昭子 殿

参議院議員小西洋之君提出国会想定問答集に記載されていても国会で明示的に答弁されていないから記載内容に反する検察官への勤務延長制度の適用は合法であるとする政府の主張が違法な三百代言であることに関する質問に対し、別紙答弁書を送付する。

参議院議員小西洋之君提出国会想定問答集に記載されていても国会で明示的に答弁されていないから
記載内容に反する検察官への勤務延長制度の適用は合法であるとする政府の主張が違法な三百代言で
あることに関する質問に対する答弁書

一及び二について

御指摘の森法務大臣の答弁は、検察官にも国家公務員法（昭和二十二年法律第二百十号）第八十一条の
三の規定が適用されるかについて、一般職の国家公務員の定年制度の導入等を内容とする国家公務員法の
一部を改正する法律（昭和五十六年法律第七十七号）制定当時の国会審議において、明示的に答弁されて
いないことを説明したものであり、「明示的に述べられていない限りは、政府がこれらの二つの答えの内
容と明確に矛盾することを法律の解釈として主張しても何ら問題はな」ということを主張するものでも、
御指摘の「人事院の政府参考人」の答弁と矛盾するものでもない。

三について

検察官も一般職の国家公務員であるから、一般職の国家公務員に適用される国家公務員法第八十一条の
三の規定が適用されると解釈することとしたものであるところ、このような解釈は適正に行われたもので

ある。